

「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」

第8回フォローアップ調査結果

○調査の概要

調査対象: 国立大学86大学(回答率100%)

調査時点: 設問1～3…令和2年11月1日現在(原則)、設問4～6…令和2年度

調査方法: 国立大学へのアンケート(調査票)

調査期間: 令和2年11月16日～令和2年12月16日

(参考 総学生数)

(人数)

	平成24年	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	5月1日現在	5月1日現在	11月1日現在	5月1日現在	11月1日現在	5月1日現在	11月1日現在	5月1日現在	11月1日現在
学部	450,266	448,183	433,700	454,076	452,307	452,529	451,184	451,184	450,847
大学院	156,180	151,424	144,902	154,898	154,526	155,673	155,354	155,354	157,972
合計	606,446	599,607	578,602	608,974	606,833	608,202	606,538	606,538	608,819

	平成29年		平成30年		令和1年		令和2年	
	5月1日現在	11月1日現在	5月1日現在	11月1日現在	5月1日現在	11月1日現在	5月1日現在	11月1日現在
学部	448,997	448,834	447,581	447,061	444,831	443,950	440,289	430,828
大学院	158,512	159,517	159,319	159,909	158,638	159,154	158,845	156,499
合計	607,509	608,351	606,900	606,970	603,469	603,104	599,134	587,327

(国立大学協会調査による)

1. 外国人留学生

目標 **2020年(令和2年)までに**受入れ留学生(外国人留学生)割合を学部・大学院合わせて**10%**にすることを旨す。

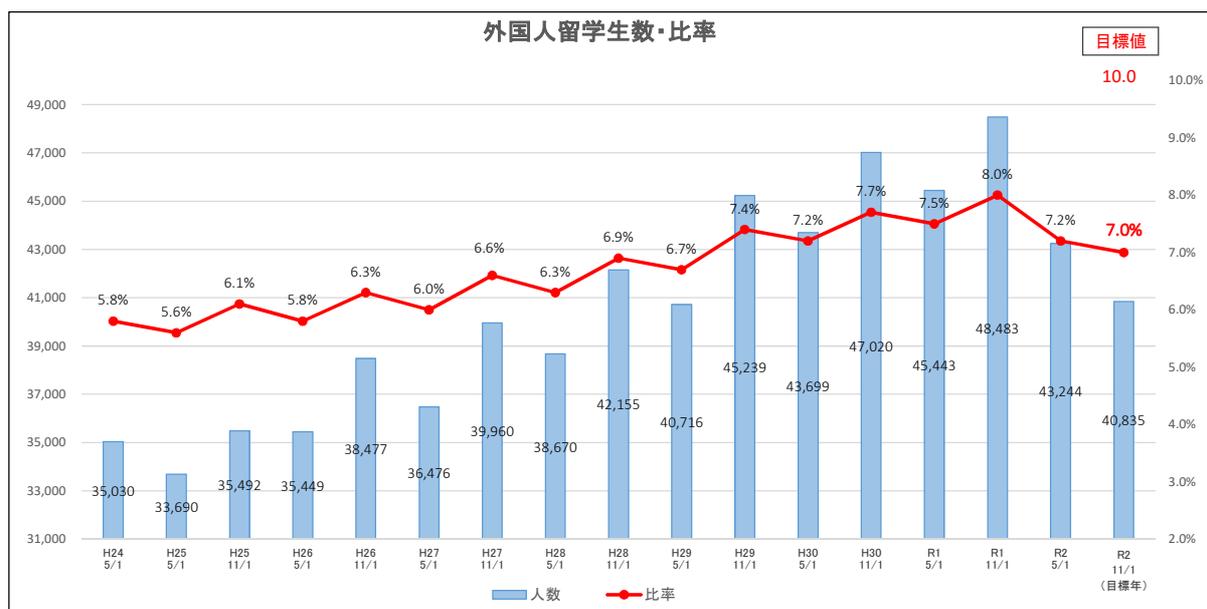
外国人留学生数

	H24.5.1 現在	H25.5.1 現在	H25.11.1 現在	H26.5.1 現在	H26.11.1 現在	H27.5.1 現在	H27.11.1 現在	H28.5.1 現在	H28.11.1 現在	H29.5.1 現在
学部	9,881 人 2.2 %	9,525 人 2.1 %	10,302 人 2.4 %	10,941 人 2.4 %	12,180 人 2.7 %	11,020 人 2.4 %	12,213 人 2.7 %	11,514 人 2.5 %	12,543 人 2.8 %	11,485 人 2.6 %
大学院	25,149 人 16.1 %	24,165 人 16.0 %	25,190 人 17.4 %	24,508 人 15.8 %	26,297 人 17.0 %	25,456 人 16.4 %	27,747 人 17.9 %	27,156 人 17.2 %	29,612 人 18.7 %	29,231 人 18.4 %
合計	35,030 人 5.8 %	35,449 人 5.6 %	35,492 人 6.1 %	35,449 人 5.8 %	38,477 人 6.3 %	36,476 人 6.0 %	39,960 人 6.6 %	38,670 人 6.3 %	42,155 人 6.9 %	40,716 人 6.7 %

	H29.11.1 現在	H30.5.1 現在	H30.11.1 現在	R1.5.1 現在	R1.11.1 現在	R2.5.1 現在	R2.11.1 現在	R1.11.1と比較
学部	13,045 人 2.9 %	12,524 人 2.8 %	13,766 人 3.1 %	12,756 人 2.9 %	13,814 人 3.1 %	10,430 人 2.4 %	8,958 人 2.1 %	4,856 人減 1.0 %減
大学院	32,194 人 20.2 %	31,175 人 19.6 %	33,254 人 20.8 %	32,687 人 20.6 %	34,669 人 21.8 %	32,814 人 20.7 %	31,877 人 20.4 %	2,792 人減 1.4 %減
合計	45,239 人 7.4 %	43,699 人 7.2 %	47,020 人 7.7 %	45,443 人 7.5 %	48,483 人 8.0 %	43,244 人 7.2 %	40,835 人 7.0 %	7,648 人減 1.1 %減

※下段＝外国人留学生数／同年同月の総学生数×100(%)

※目標値を定めている大学 **59** / 86大学



2. 日本人学生の海外留学

目標 **2020年(令和2年)までに派遣留学生(日本人の海外留学生)割合を学部・大学院合わせて5%にすることを指す。**

日本人学生の海外留学者数

		H23年度実績	H24年度実績	H25年度実績	H26年度実績	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績
長期 (1年以上)	学部	506人	457人	302人	506人	816人	624人	348人	229人	146人
	大学院	568人	479人	215人	206人	210人	213人	205人	197人	205人
	小計	1,074人	936人	517人	712人	1,026人	837人	553人	426人	351人
短期 (1年未満)	学部	7,844人	9,935人	11,223人	13,626人	14,651人	18,229人	19,594人	22,087人	19,714人
	大学院	4,201人	6,432人	5,363人	6,077人	6,752人	7,589人	9,314人	10,315人	10,046人
	小計	12,045人	16,367人	16,586人	19,703人	21,403人	25,818人	28,908人	32,402人	29,760人
合計	学部	8,350人	10,392人	11,525人	14,132人	15,467人	18,853人	19,942人	22,316人	19,860人
		1.9%	2.3%	2.6%	3.2%	3.5%	4.3%	4.6%	5.2%	4.6%
	大学院	4,769人	6,911人	5,578人	6,283人	6,962人	7,802人	9,519人	10,512人	10,251人
		3.0%	4.4%	4.4%	4.8%	5.3%	6.0%	7.4%	8.3%	8.1%
	合計	13,119人	17,303人	17,103人	20,415人	22,429人	26,655人	29,461人	32,828人	30,111人
		2.2%	2.9%	3.0%	3.6%	3.9%	4.7%	5.2%	5.9%	5.4%

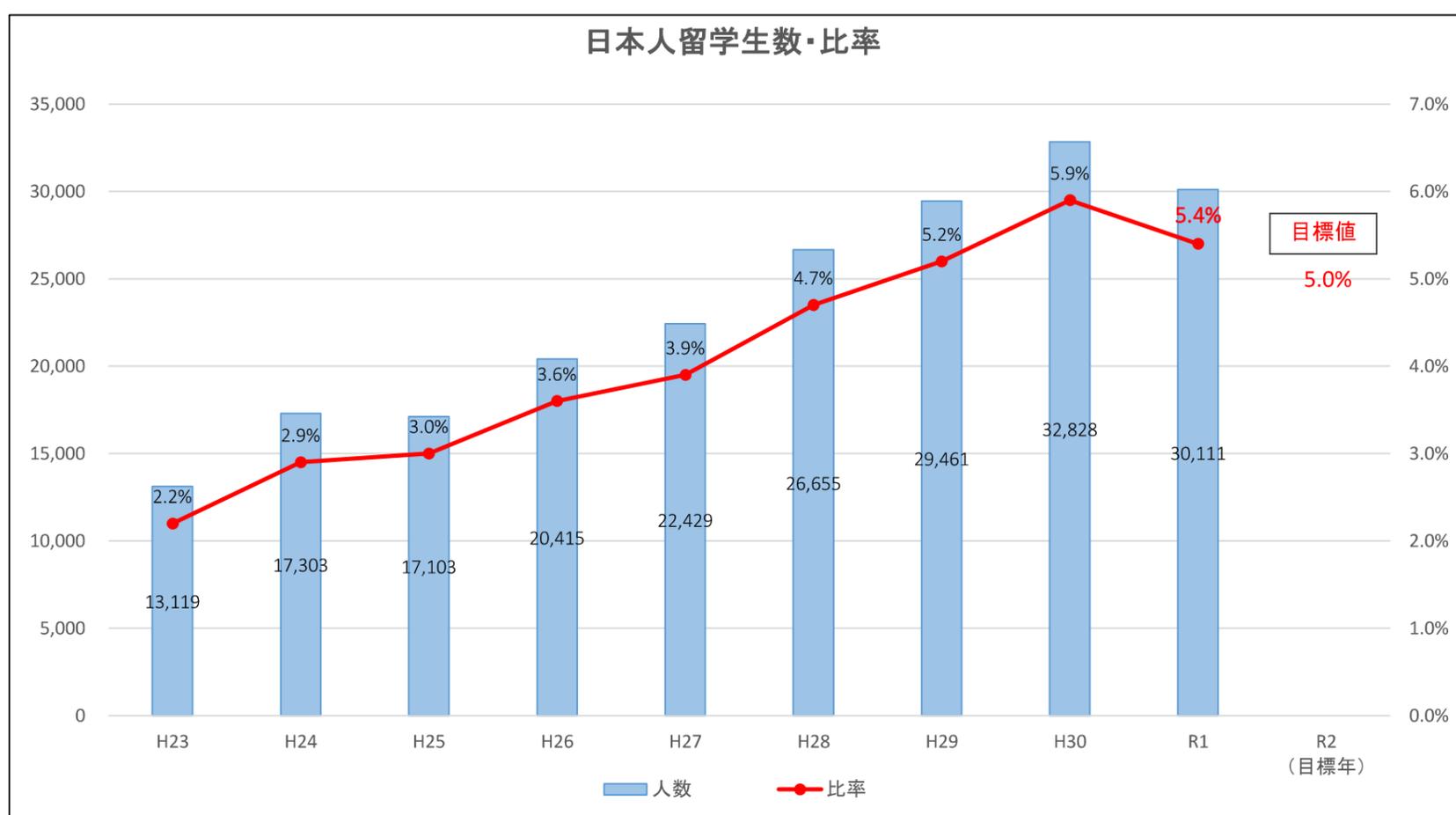
※[合計]下段について

平成23～24年度 海外留学生[日本人に限らない]／同年5月1日時点の総学生数×100(%)

平成25年度以降 海外留学生[日本人に限る]／(同年5月1日時点の総学生数－外国人留学生数)×100(%)

※目標値を定めている大学

63 / 86大学



3. 外国人教員

目標

2020年までに外国人教員比率を倍増させることを目指す。

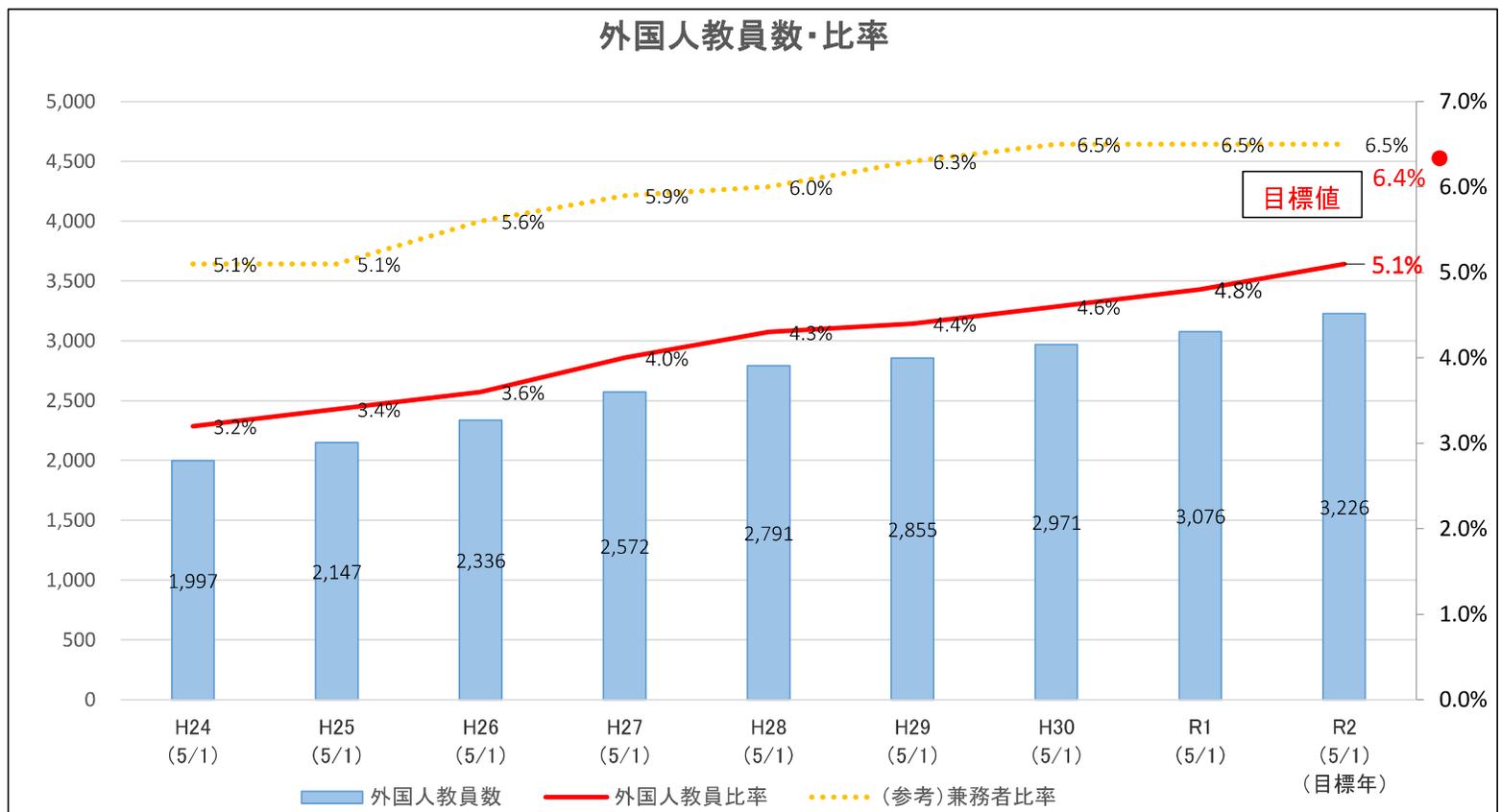
外国人教員数

	本務者								
	H24.5.1 現在	H25.5.1 現在	H26.5.1 現在	H27.5.1 現在	H28.5.1 現在	H29.5.1 現在	H30.5.1 現在	R1.5.1 現在	R2.5.1 現在
外国人教員数	1,997	2,147	2,336	2,572	2,791	2,855	2,971	3,076	3,226
教員数	62,825	63,218	64,114	64,515	64,318	64,280	64,433	63,935	63,870
外国人教員比率	3.2%	3.4%	3.6%	4.0%	4.3%	4.4%	4.6%	4.8%	5.1%

	(参考)兼務者								
	H24.5.1 現在	H25.5.1 現在	H26.5.1 現在	H27.5.1 現在	H28.5.1 現在	H29.5.1 現在	H30.5.1 現在	R1.5.1 現在	R2.5.1 現在
外国人教員数	1,981	2,023	2,079	2,313	2,300	2,333	2,476	2,431	2,389
教員数	38,697	39,310	37,024	39,467	38,632	37,188	37,828	37,473	36,482
外国人教員比率	5.1%	5.1%	5.6%	5.9%	6.0%	6.3%	6.5%	6.5%	6.5%

※目標値を定めている大学

27 / 86大学



4. 英語での授業

目標 **2020年までに**英語での授業実施科目数を学部、大学院とも**倍増**させることを目指す。

(1) 英語での授業

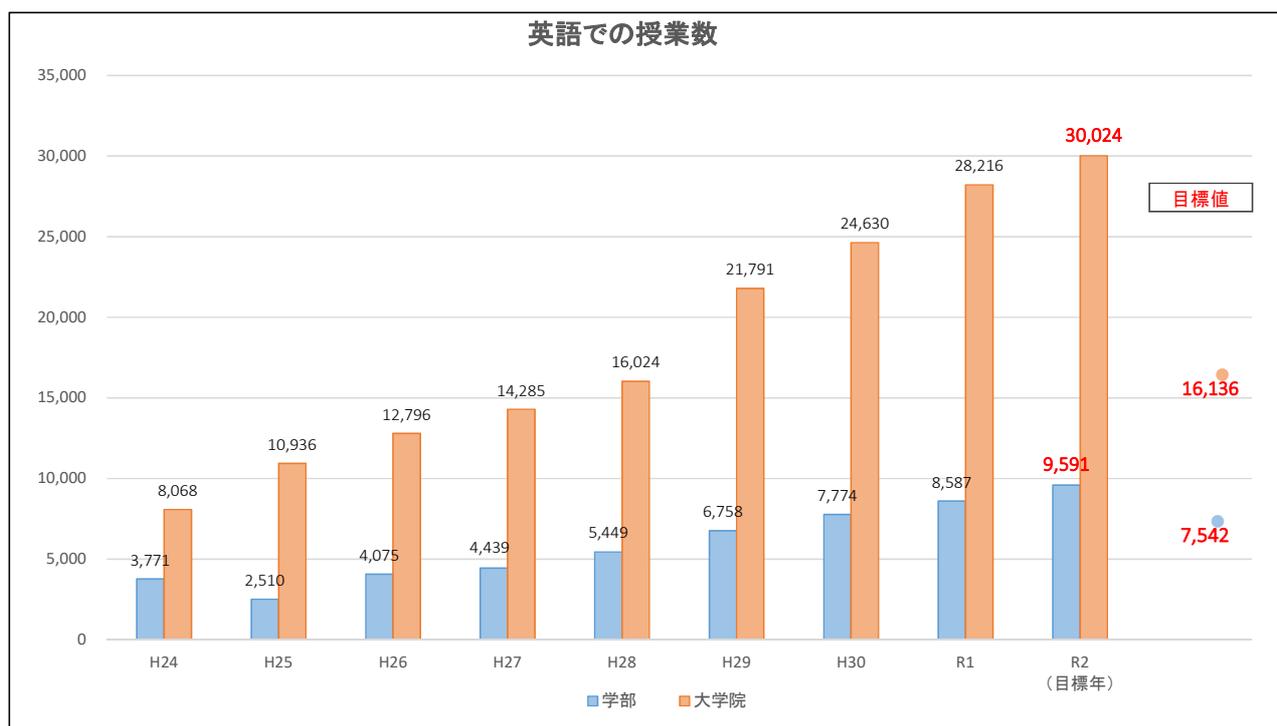
※平成24年度の授業科目数には、語学としての授業科目を一部含む。

①学部

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
3,771 授業科目	2,510 授業科目	4,075 授業科目	4,439 授業科目	5,449 授業科目	6,758 授業科目	7,774 授業科目	8,587 授業科目	9,591 授業科目

②大学院

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
8,068 授業科目	10,936 授業科目	12,796 授業科目	14,285 授業科目	16,024 授業科目	21,791 授業科目	24,630 授業科目	28,216 授業科目	30,024 授業科目



(2) 大学の取組み状況

英語での授業を実施している大学数

学部 **67** / 82大学 (**81.7** %) (前回比: **0** 大学 **0** % 増)
 大学院 **74** / 86大学 (**86** %) (前回比: **0** 大学 **0** % 増)

数値目標の設定

目標 **2020年までに**国際化に関連した数値目標を設定している大学数を**倍増**させることを目指す。

数値目標を設定している大学数

①外国人留学生数に関する数値目標

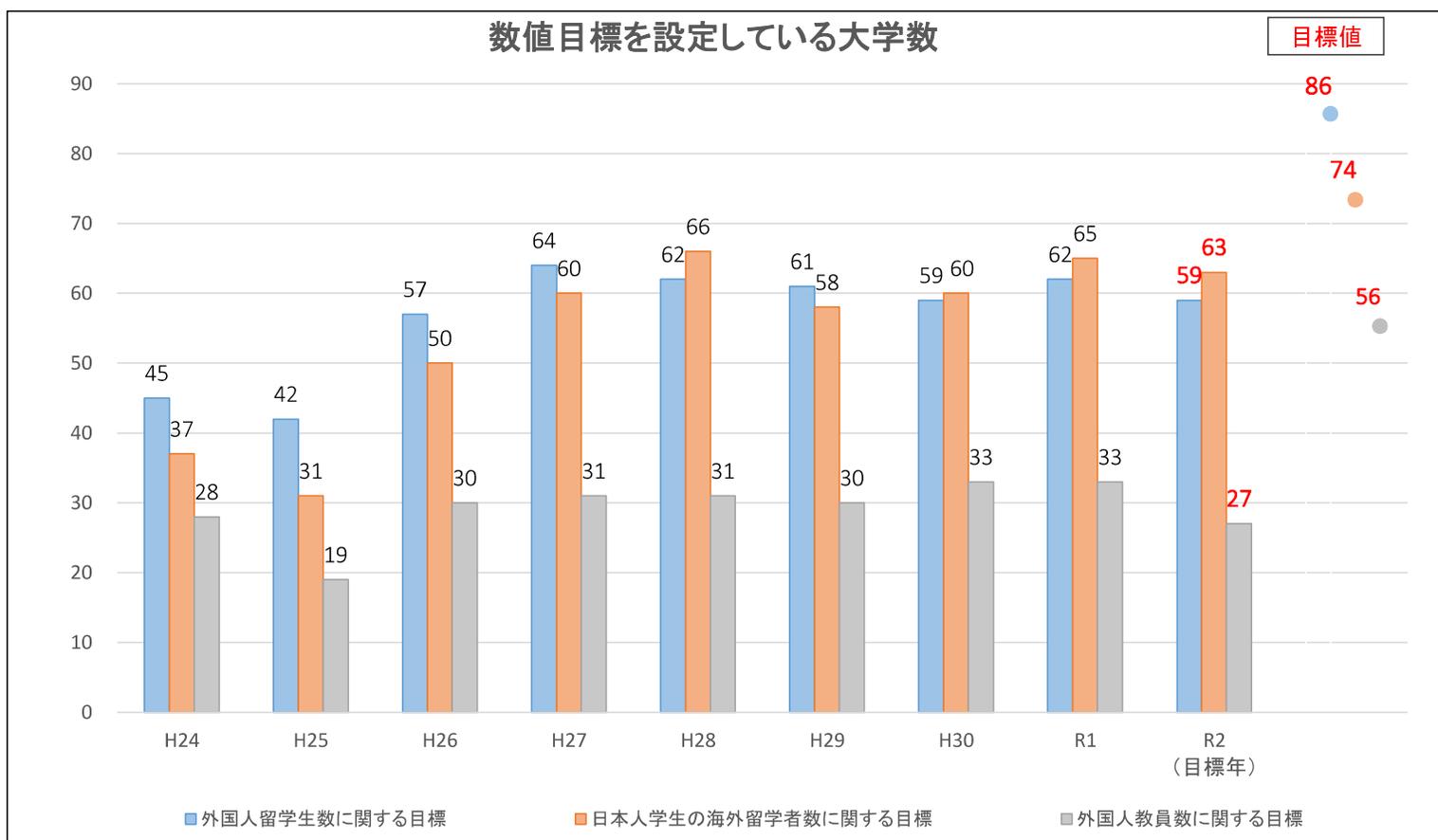
H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
45 大学	42 大学	57 大学	64 大学	62 大学	61 大学	59 大学	62 大学	59 大学

②日本人学生の海外留学者数に関する数値目標

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
37 大学	31 大学	50 大学	60 大学	66 大学	58 大学	60 大学	65 大学	63 大学

③外国人教員数に関する数値目標

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
28 大学	19 大学	30 大学	31 大学	31 大学	30 大学	33 大学	33 大学	27 大学



5. その他

(1) 英語による授業のみで学位が取得できるコース等

① 留学生のみに限定されているコース等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学 部 (全82大学)	5 大学	6.1%	5 大学	6.1%	0 大学	0.0% →
大学院 (全86大学)	39 大学	45.3%	38 大学	44.2%	+ 1 大学	1.2% ↑

② 留学生のみに限定されていないコース等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学 部 (全82大学)	12 大学	14.6%	13 大学	15.9%	- 1 大学	-1.2% ↓
大学院 (全86大学)	54 大学	62.8%	53 大学	61.6%	+ 1 大学	1.2% ↑

(2) 外国人学生向けの特別なプログラム等の設置

① 1ヶ月未満のプログラム等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学 部 (全82大学)	44 大学	53.7%	46 大学	56.1%	- 2 大学	-2.4% ↓
大学院 (全86大学)	38 大学	44.2%	38 大学	44.2%	0 大学	0.0% →

(今回調査) 主な使用言語…学部：日本語26大学、英語34大学 / 大学院：日本語20大学、英語32大学

(前回調査) 主な使用言語…学部：日本語26大学、英語36大学 / 大学院：日本語21大学、英語31大学

② 1ヶ月以上6ヶ月未満のプログラム等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学 部 (全82大学)	43 大学	52.4%	43 大学	52.4%	0 大学	0.0% →
大学院 (全86大学)	41 大学	47.7%	39 大学	45.3%	+ 2 大学	2.3% ↑

(今回調査) 主な使用言語…学部：日本語30大学、英語32大学 / 大学院：日本語27大学、英語37大学

(前回調査) 主な使用言語…学部：日本語30大学、英語31大学 / 大学院：日本語23大学、英語31大学

③ 6ヶ月以上のプログラム等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学 部 (全82大学)	51 大学	62.2%	47 大学	57.3%	+ 4 大学	4.9% ↑
大学院 (全86大学)	51 大学	59.3%	46 大学	53.5%	+ 5 大学	5.8% ↑

(今回調査) 主な使用言語…学部：日本語46大学、英語34大学 / 大学院：日本語41大学、英語44大学

(前回調査) 主な使用言語…学部：日本語40大学、英語32大学 / 大学院：日本語38大学、英語38大学

(参考) 世界に対して広く募集している短期留学プログラム等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学 部 (全82大学)	19 大学	23.2%	19 大学	23.2%	0 大学	0.0% →
大学院 (全86大学)	16 大学	18.6%	16 大学	18.6%	0 大学	0.0% →

募集の対象を協定校や交流実績のある大学に絞ったり、教職員の国際的なネットワークによる募集ではなく、例えばHP等で応募者を広く世界から募っているプログラム

(3) 4月以外の入学時期の導入

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
学部 (全82大学)	導入している	16 大学	19.5%	16 大学	19.5%	0 大学	0.0% →
	導入する予定	1 大学	1.2%	1 大学	1.2%	0 大学	0.0% →
	導入していない	65 大学	79.3%	65 大学	79.3%	0 大学	0.0% →
大学院 (全86大学)	導入している	76 大学	88.4%	76 大学	88.4%	0 大学	0.0% →
	導入する予定	1 大学	1.2%	0 大学	0.0%	+ 1 大学	1.2% →
	導入していない	9 大学	10.5%	10 大学	11.6%	- 1 大学	-1.2% ↓

(4) ①4学期制の導入(一部で実施している場合を含む)

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
学部 (全82大学)	導入している	37 大学	45.1%	35 大学	42.7%	+ 2 大学	2.4% ↑
	導入する予定	1 大学	1.2%	0 大学	0.0%	+ 1 大学	1.2% ↑
	導入していない	44 大学	53.7%	47 大学	57.3%	- 3 大学	-3.7% ↓
大学院 (全86大学)	導入している	39 大学	45.3%	36 大学	41.9%	+ 3 大学	3.5% ↑
	導入する予定	1 大学	1.2%	0 大学	0.0%	+ 1 大学	1.2% ↑
	導入していない	46 大学	53.5%	50 大学	58.1%	- 4 大学	-4.7% ↓

(4) ②柔軟な学事歴の導入(一部で実施している場合を含む)

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
学部 (全82大学)	導入している	22 大学	26.8%	17 大学	20.7%	+ 5 大学	6.1% ↓
	導入する予定	1 大学	1.2%	2 大学	2.4%	- 1 大学	-1.2% ↓
	導入していない	59 大学	72.0%	63 大学	76.8%	- 4 大学	-4.9% ↓
大学院 (全86大学)	導入している	26 大学	30.2%	23 大学	26.7%	+ 3 大学	3.5% ↑
	導入する予定	1 大学	1.2%	0 大学	0.0%	+ 1 大学	1.2% ↑
	導入していない	59 大学	68.6%	63 大学	73.3%	- 4 大学	-4.7% ↓

(5) ダブルディグリープログラムの実施(一部で実施している場合を含む)

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
学部 (全82大学)	実施している	8 大学	9.8%	9 大学	11.0%	- 1 大学	-1.2% ↓
	実施する予定	4 大学	4.9%	1 大学	1.2%	+ 3 大学	3.7% ↑
	実施していない	70 大学	85.4%	72 大学	87.8%	- 2 大学	-2.4% ↓
大学院 (全86大学)	実施している	56 大学	65.1%	52 大学	60.5%	+ 4 大学	4.7% ↑
	実施する予定	4 大学	4.7%	4 大学	4.7%	0 大学	0.0% →
	実施していない	26 大学	30.2%	30 大学	34.9%	- 4 大学	-4.7% ↓

(6) ジョイントディグリープログラムの実施(一部で実施している場合を含む)

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
学部 (全82大学)	実施している	0 大学	0.0%	1 大学	1.2%	- 1 大学	-1.2% ↓
	実施する予定	2 大学	2.4%	2 大学	2.4%	0 大学	0.0% →
	実施していない	80 大学	97.6%	79 大学	96.3%	+ 1 大学	1.2% ↑
大学院 (全86大学)	実施している	10 大学	11.6%	8 大学	9.3%	+ 2 大学	2.3% ↑
	実施する予定	4 大学	4.7%	8 大学	9.3%	- 4 大学	-4.7% ↓
	実施していない	72 大学	83.7%	70 大学	81.4%	+ 2 大学	2.3% ↑

(7)国際バカロレア入試の導入

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大学 (全86大学)	導入している	19 大学	22.1%	16 大学	18.6%	+ 3 大学	3.5% ↑
	導入する予定	0 大学	0.0%	1 大学	1.2%	- 1 大学	-1.2% ↓
	導入していない	67 大学	77.9%	69 大学	80.2%	- 2 大学	-2.3% ↓

(8)―①留学生宿舎の整備【大学の所有宿舎】

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大学 (全86大学)	整備している	81 大学	94.2%	80 大学	93.0%	+ 1 大学	1.2% ↑
	整備する予定	0 大学	0.0%	0 大学	0.0%	0 大学	0.0% →
	整備していない	5 大学	5.8%	6 大学	7.0%	- 1 大学	-1.2% ↓

(今回調査)整備戸数=22,554 整備予定戸数=0

(前回調査)整備戸数=21,175 整備予定戸数=0

(8)―②留学生宿舎の整備【民間企業等との法人契約による借上げ】

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大学 (全86大学)	整備している	18 大学	20.9%	21 大学	24.4%	- 3 大学	-3.5% ↓
	整備する予定	0 大学	0.0%	1 大学	1.2%	- 1 大学	-1.2% ↓
	整備していない	68 大学	79.1%	64 大学	74.4%	+ 4 大学	4.7% ↑

(今回調査)整備戸数=1487 整備予定戸数=0

(前回調査)整備戸数=1,967 整備予定戸数=10

(8)―③留学生宿舎の整備【自治体等所有宿舎の大学への専用居室の割当て】

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大学 (全86大学)	整備している	21 大学	24.4%	16 大学	18.6%	+ 5 大学	5.8% ↑
	整備する予定	1 大学	1.2%	3 大学	3.5%	- 2 大学	-2.3% ↓
	整備していない	64 大学	74.4%	67 大学	77.9%	- 3 大学	-3.5% ↓

(今回調査)整備戸数=408 整備予定個数=12

(前回調査)整備戸数=351 整備予定個数=46

(9)―①大学独自の奨学金制度の導入【外国人留学生向け奨学金制度】

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	設置割合	大学数	設置割合	大学数	設置割合
大学 (全86大学)	導入している	68 大学	79.1%	66 大学	76.7%	+ 2 大学	2.3% ↑
	導入する予定	0 大学	0.0%	0 大学	0.0%	0 大学	0.0% →
	導入していない	18 大学	20.9%	20 大学	23.3%	- 2 大学	-2.3% ↓

(9)―②大学独自の奨学金制度の導入【日本人学生向け海外留学奨学金制度】

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大学 (全86大学)	導入している	80 大学	93.0%	76 大学	88.4%	+ 4 大学	4.7% ↑
	導入する予定	1 大学	1.2%	1 大学	1.2%	0 大学	0.0% →
	導入していない	5 大学	5.8%	9 大学	10.5%	- 4 大学	-4.7% ↓

(10) 留学先大学で履修科目の単位認定の実施

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大 学 (全86大学)	実施している	83 大学	96.5%	82 大学	95.3%	+ 1 大学	1.2% ↑
	実施する予定	0 大学	0.0%	0 大学	0.0%	0 大学	0.0% →
	実施していない	3 大学	3.5%	4 大学	4.7%	- 1 大学	-1.2% ↓

5 (11). 大学として支援している、留学生の在留管理に係る手続きについて(自由記述)

(主なもの) ※件数については、本設問において回答があったもののうち、3大学以上から回答があったものについて表示。

【入学時～卒業時(就職活動含む)における手続きについて、対応に苦慮していること】

- 入学前
 - ・ 在留資格認定証明書の申請から発行までの時間の長期化(7件)
 - ・ 在留資格認定証明書の申請手続きが非効率、不明確(5件)
 - ・ ビザの発行が間に合わない学生の来日の遅延に対する対応
 - ・ 申請手続きに係る学生からの書類提出の遅延や書類不備への対応
 - ・ 新型コロナウイルス感染症に関する水際対策による入国制限に伴う発行済の在留資格認定証明書の取扱い(有効期限や返納、再申請等)の具体的な手続きが不明確
- 在学中
 - ・ 長期帰国者、休学者及び在留期間更新者に対する在留管理(8件)
 - ・ 在留期間更新手続きに対する認識の甘い学生への対応(6件)
 - ・ 学生の資格外活動等の状況把握
 - ・ 新型コロナウイルス感染症に関する水際対策による入国制限で入国が遅れた新規渡日学生の中長期在留者としての報告時期や報告方法(一括か個別か)
- 卒業、修了後
 - ・ 離籍後の学生の在留資格の確認(6件)
 - ・ 卒業、修了等で帰国する学生への指導と対応(在留資格の変更手続きの指導等)(4件)
 - ・ 在留資格「特定資格」申請への対応(4件)
- その他
 - ・ 在留資格に係る各種手続きの支援における言語の壁

【国等に要望したいこと】

(主なもの)

- 在留資格認定証明書申請に係る手続きの簡素化(申請書様式の改善、電子媒体での提出 等)(8件)
- 出入国在留管理庁における審査の迅速化(8件)
- 外務省及び出入国在留管理庁における体制の強化(法人専用窓口の設置、多言語への対応、対応の統一、各種通知のデータ化、審査状況がリアルタイムでわかるシステムの導入 等)(11件)
- 入国管理局から所属機関への各種情報発信の強化及び在留期間更新者に係る情報提供システムの構築
- 留学生の在籍期間終了時の報告の一元化
- 在留期限の見直しの検討(修業年限に応じた一律の在留期限の設定、特定活動の在留期限の延長等)
- 国費留学生の募集時期の見直し
- 在留資格認定証明書申請における行政書士取次依頼料の財政的支援

6. 自由記述(教育の国際化に関する事柄)

(主なもの)※件数については、本設問において回答があったもののうち、3大学以上から回答があったものについて表示。

【新型コロナウイルス感染症対応関連】

1. 対応に苦慮していること

①外国人留学生の受入れ・日本人学生の派遣双方に関すること

- 渡航制限によるフィジカル留学(教員のサバティカル研修含む)の中止(20件)
- 既存の交流プログラムのオンライン化(4件)
- オンライン授業の実施
 - ・ 各国・地域で異なる通信状況への対応(5件)
 - ・ 渡日せず授業を受ける留学生への学習支援及び教員のオンライン授業スキル向上(4件)
 - ・ 学修成果の担保
 - ・ 実験、実習への対応
 - ・ 海外での教科書入手方法
 - ・ 留学生の居住国との時差
 - ・ オンライン授業における授業料発生に対する海外の大学との調整
 - ・ 単位互換制度の運用方法の検討
 - ・ オンライン授業・セミナー等の受講を留学に含めるかどうかの検討
 - ・ オンラインと対面の双方の利点を活用した入学から卒業までの段階的・継続的なグローバル人材育成教育の位置付け
- 各種対応に伴う教職員の負担増加(5件)

②外国人留学生の受入れに関すること

- 留学生の入国に係る対応
 - ・ 入国手続きの変更等に関する最新情報入手(7件)
 - ・ レジデントラック誓約書対応に伴う業務の煩雑化(9件)
 - ・ 14日間の待機場所確保及び大学までの移動手段確保(22件)
 - ・ 14日間の待機のための留学生の金銭的負担(5件)
 - ・ 健康管理におけるLINEアプリ使用に係るトラブル(3件)
 - ・ 留学生の家族の呼び寄せへの対応(3件)
- 留学生への各種支援
 - ・ 孤立しがちな留学生へのメンタルケア(7件)
 - ・ 留学生への経済的支援(5件)
 - ・ 調査・実験等の実施に影響を受けたことにより、修了等要件に抵触する学生への対応
- 学内の危機管理体制の構築
 - ・ 留学生宿舍への入居制限(3件)
 - ・ 留学生が感染した、あるいは感染疑いがあるときの対応の検討
- 私費外国人留学生入試への対応(6件)
- 海外からの受験者確保

③日本人学生の派遣に関すること

- 派遣留学を再開する基準(4件)
- 日本人学生の海外留学へのモチベーション維持(3件)
- 海外留学中の感染症対策(3件)

2. 他大学との情報交換を行いたいこと

- オンライン留学の対応状況(9件)
- 今後の受入れ対応及び派遣の再開基準(8件)
- 留学生の入国後の検疫対応(7件)
- レジデンストラック誓約書への対応(6件)
- 留学生が感染した、あるいは感染疑いがあるときの対応(4件)
- 留学生に対する経済的支援、メンタルケア(3件)
- 今後の国際化の見通し(フィジカル(対面)な国際交流学修に加え、オンラインとフィジカル(対面)のブレンド交流、オンライン交流のみといった、新たな教育の機会創出と質の向上など)
- オンライン授業と対面授業の比率及び対面授業で特に注意している事項
- 国際通用性を持った質保証、単位認定と資格承認の円滑化(国際認証制度への加盟等)、教育の効果検証
- 入試の実施方法
- 海外留学中の危機管理体制

3. 国等に要望したいこと

- 留学生の入国後の検疫対応に係る大学の負担軽減のための支援及び制度見直し(14件)
- レジデンストラックの手続き統一及び変更が生じた際の周知徹底、大学の負担軽減(7件)
- 各省庁が個別に発出する情報をまとめたウェブサイト等の構築、重要な施策(学生支援緊急給付金・入国制限緩和等)の大学への事前周知徹底(6件)
JASSO協定派遣奨学金の柔軟な運用による交流推進(オンライン国際交流への支援、フィジカル留学再開後の支援対象人数の拡大、令和2年度に採択されたが派遣中止となったプログラムの次年度への繰越等)(6件)
- アルバイトの機会が減少した留学生に対する経済的支援、生活支援、就職支援の充実(6件)
- オンライン授業及び対面授業を行うための環境整備のための支援(3件)
- オンライン教育による交流を評価する制度の構築
- 遠隔授業の修得可能単位数の上限見直し
- 2021年4月期新規渡日留学生に対する受入れ方針の早期決定
- 各国・地域の状況に応じた派遣留学再開基準の検討
- 海外留学中に感染症または感染の疑いがある場合の、国としての支援や協力体制の周知
- 在籍確認簿等へのサインの電子化の検討
- 海外渡航が関係する中期計画・中期目標の達成目標の柔軟な扱い

【新型コロナウイルス感染症対応以外】

4. 対応に苦慮していること

- 留学生に対する経済支援、学習支援、生活支援、就職支援(10件)
- 日本人学生の派遣支援(派遣先確保、経済的支援、学習支援、危機管理)(7件)
- 国際化に対応する教職員の育成と確保(6件)
- 留学生宿舎の確保・運営(5件)
- 英語開講科目の開発・拡大(3件)
- 単位の質保証(3件)
- 日本人学生及び留学生の基礎学力の向上(語学力含む)
- 欧米からの留学生の確保
- ダブルディグリーやジョイントディグリープログラム等の構築
- 安全保障輸出管理の体制整備

5. 他大学との情報交換を行いたいこと

- 留学生に対する経済支援、学習支援、生活支援、就職支援(11件)
- 海外留学中の危機管理体制の整備(5件)
- 英語開講科目の取組事例(3件)
- オンライン留学の事例(3件)
- ダブルディグリーやジョイントディグリープログラム等の実施状況(3件)
- 国際化に対応する人材の育成と確保
- 留学生の受入れと日本人学生の派遣の拡大に関する取組の成功例
- 派遣留学や海外インターンシップの単位化の事例
- 単位互換制度の運用
- 海外留学経験がその後の学生のキャリアにどのように生かされたかについての事例
- 留学生宿舎の確保・運営
- 新規渡日留学生の在留資格認定証明書交付が遅延した場合の対応
- 留学生との卒業後のネットワーク形成に関する取組み
- 就労目的で入学してくる研究生への対策・対応
- EU域との学生交流におけるGDPR(EU一般データ保護規則)への対応事例と学内体制の整備
- 国内の他大学との教育連携の可能性
- 事務作業の効率化のグッドプラクティスの共有

6. 国等に要望したいこと

- 日本人学生の海外留学と外国人留学生受入の拡大のための経済的支援の継続と拡充(10件)
- 留学生宿舎を整備するための財政的支援(5件)
- 大学の国際化(グローバル人材育成・ICT活用推進等)のための予算確保
- 出入国在留管理庁における入国管理の厳格化
- 省庁の英語版ウェブサイトの拡充及び日本語版ウェブサイトとの対応
- 教育研究に関する手続きにおける押印省略やデジタルトランスフォーメーションの促進事業
- 学部学生の入学定員超過率から外国人留学生を除外することの検討
- 高等教育修学支援新制度の見直し(海外留学すると制度の対象外となる可能性が高いため制度改善が必要、留学生を対象に加えるもしくは留学生用の免除制度を別途構築する 等)
- 留学生修了者ネットワーク構築のあり方の検討
- 外国人留学生への就職活動支援の充実
- 国費留学生推薦スケジュールの緩和、研修内容ガイドラインの作成、研究費配分の措置